

仙台向山高 茶道部



自分たちで浴衣や袴の着付けをして笑顔の部員

着付けに挑戦

9人の部員はほとんどが茶道未経験者。長の普通科3年三土手多賀中出身)は中学ではバドミントン部だったが、親戚に茶道の面白さを聞いていたこともあり、高校では茶道部に入部。1年生の時は男子部員が1人で「少し寂しかったです」と話すが、今は1年生に男子が2人いる。校舎3階にある和室で火・木・金曜の放課後に活動。木曜は裏千家の北村宗津先生に指導してもらっている。

取材日は、毎年恒例

の「浴衣着付け講習会」を行った。文化祭では和装でお点前をするため、女子は浴衣、男子は袴の着付けを外部講師に教わった。顧問の早坂晴子先生は「帯の結び方まで習得できます。花火大会などに遊びに行く際、講習会で学んだ着付けを実践しようです」と話す。

地域とも交流

茶道部は代々「気配り、気働き」の精神を大切に活動し、行事にも積極的に取り組んでいる。5月の「歓迎茶会」では新任の先生にお茶会を実施。12月に行われる「送別茶会」は3年生部員を送る恒例行事だ。



外部講師を招いた浴衣着付け講習会



お茶会体験では小学生に日本の伝統文化の魅力を紹介

お点前通り奉仕の心磨く

学外の人と交流できる機会もある。6月に仙台市向山児童館で「お茶会体験」を開き、小学1、2年生に抹茶と菓子を振る舞い茶道の魅力を伝えている。三土手さんは「小学生に抹茶を受け入れてもらえるか不安でしたが、「おいしい」と飲んでくれました。子どもが興味を持つてくれそれが喜んでもらえまし

い抹茶と和菓子を味わいながら和の文化に触れられます。学外の方と連携できる機会もあります」と語る。

仙台向山高
(普通科、理数科)

太白区八木山緑町1-1
TEL 022-262-4130

[仙台向山高](#)

た」と笑顔を見せる。10月には裏千家が主催する「児童・生徒・学生茶会」に代表部員が参加。日頃の稽古の成果を披露する貴重な機会になっている。

2024年秋には初めて、町内会のサロン活動に参加。高齢者が作陶した器で、部員たちが点てた抹茶を楽しんでもらった。三土手さんは「地域の人とつながりを持ち、茶道で大切にしている奉仕の心を磨くことができました」と振り返る。

早坂先生は「おいしい抹茶と和菓子を味わいながら和の文化に触れられます。学外の方と連携できる機会もあり、興味を広げることもできます」と語る。